第4回 日本財団Facebook

シェア

共コンクール結果発表

協賛



FUJ!FILM



2014年3月に撮影された東日本大震災に関連した写真を募集した「第4回日本財団 Facebook・発コンクール」。 写真家の渡部陽一氏、太田信子氏ら審査員がグランプリ1点と優秀賞10点を、 協賛企業の担当者が、ニコン賞、富士フイルム賞を決定しました。 たくさんのご応募ありがとうございました!







錆の音(さびのね)

3月29日岩手県陸前高田市 震災で不通となった ドラゴンレール大船渡線「陸前矢作駅」にて。 3年が経過し三陸鉄道復旧も話題になっていますが、 いまだにこのような状態の路線があることも事実です。 現在、陸前高田市は高台造成が盛んに行われています。 人々の明るい声や街の音が聞こえてくることを願っています。

投稿者: Shoji Sugawara さん

審査員より(総評)



渡部陽一(戦場カメラマン) 2011年から1年ごとに写真に変化がでた。 明日へ。次の日へ、次の日へ。 カメラのある日常。どんなときもカメラを 持っている。復興、色んな情報がある中で、 そこで暮らしている人の一撮入魂。



太田信子(写真家・岩手県在住) (自分が)被災地の県民の一員。 応募総数は少なくても、フランスのリオン からの投稿、九州からの投稿、注目されて いるということで力強く感じる。



富永夏子 (日本財団・写真家) 多くの人が復興までの道のりをサポート しているということが、被災地でご苦労 されている方々にこれらの写真を通して 届くことを願っています。



投稿者: Irene Akiko Iwamoto さん

震災から1ヶ月後の2011年4月11日、廃材を使って 石巻市門脇地区の住民の方が建てた「かんばろう! 石巻」 の看板は、丸三年を迎えた今も、「祈りを捧げたい人」を 受け入れる場所となっている。3月11日14時46分、 看板前に集まった大勢の人々と共に海に向かって黙とう を捧げた後、さまざまな想いを込めたバルーンを空に向 かって放った。お空のあの人にも、きっと届いただろう。 (一部抜粋)



投稿者: Toru Kanno さん

嬉し恥ずかし

三陸鉄道南リアス線 恋し浜駅の待合室にて撮影。 5分ほどの停車時間に運転士さん自ら待合室に案内していただき、ホタテの絵馬を紹介していただきました。約8000枚ほど有るとか。この4月5日には南リアス線、6日には北リアス線が運転再開いたしました。また今度お邪魔しますね。(一部抜粋)



投稿者: Noboru Kitaizaki さん

漁船で離任 震災の先生方

震災で全壊した岩手県大船渡赤崎小学校の子供達は 隣接する蛸の浦小学校にバスで通学、蛸の浦小学校 校庭は被災者仮設住宅である。苦労の3年間、先生 方9名、漁船で「さようなら」の情景。



投稿者: Yoshiyuki Kakoi さん

(公社) モーターボート選手会というボートレーサーの団体です。月に1~2回の頻度で宮城県石巻市狐崎浜でボランティア活動を行っています。この写真は3月27日の活動の様子で、現役ボートレーサー12名が参加し、地元漁師の方と一緒にムール貝の掃除をしました。

ニコン賞



投稿者: Junichi Hirano さん

気持ちで負けるな! 魅せろ唐魂

平成 25 年度唐丹中学校卒業生。 初めての卒業式 (小学校の卒業式は津波でできなかった)は凛々しく逞しく見えた。 復興の力にお前達がなれ!(一部抜粋)

ニコン担当者より:小学校の卒業式直前に 震災が起きた。あれから3年、この子たち にとって初めての卒業式が唐丹中学校で行 われた。感慨深い写真です。

Nikon 1 AW1 防水ズームレンズキット



富士フイルム賞



投稿者: Tsuyoshi Wada さん

拝啓 お元気ですか

2014年3月11日。気仙沼市大島。 この日、ボランティアが再び集まり黙祷。 そして復興を祈願。みんなの気持ちが ひとつに繋がった瞬間をパチリ。(一部抜粋)

富士フイルム担当者より:復興に関して、 若者達の自主的な活動も大きな力になっ ていると感じています。そういった若者 達の元気とやる気を感じさせる一枚です。

チェキinstax mini90ネオクラシック (フィルム50枚付き)

イヤーアルバム 1冊無料クーポン券





投稿者: Mitsuhiro Takagi さん

三回忌供養

福島県いわき市豊間薄磯海岸でも多数の津波の犠牲者が 出た。2014年3月11日、寺院でのお坊さんの読経、 2時46分の黙祷、その後海岸へ向かいお坊さんが海岸へ 一列に並んでの供養を終え、寺院へ帰るお坊さんの前へ 長女が飛び出して、一緒に写してしまった。(一部抜粋)



投稿者: Eriko Kouno さん

全身全需

行き交う人々の大勢が男の全身全霊のパフォーマンスを見ていた。男に話を聞くと、この絵は最後に色を入れるつもりだという。忘れない 希望 全身全霊 あの日のことを忘れず、しかし希望を捨てず、力いっぱい生きる。それが私にできることの1つだと思った。(一部抜粋)



投稿者: Miho Matsumoto さん

高田賢三氏と握手を交わす、 遣欧使節団末裔の八ポンさん

3月11日、日本時間14時46分に行われた、スペインのコリアデリオとロンドン、青葉城、平泉中尊寺を中継で結ぶ追悼式典で、呼びかけ人の高田賢三氏と、400年前の支倉常長率いる遺欧使節団の未裔と言われる数百名の Japőn(ハポン) 姓をもつ中のお一人、ハポンさんが固い握手を交わす瞬間。(一部抜粋)



投稿者:兄さんさん

大分県玖珠町伐株山と菜の花と 「がんばろう石巻」

2011.2012 と宮城県でお仕事をさせて頂きました。 遠くにいても何かお力になれないかと、地域の住民と 共に石巻南浜にある「がんばろう石巻」の看板を建て ました。暑い南浜での活動も、この看板に励まされて いたのを思い出します。



追悼の思い

石巻市門脇・南浜地区 3.11 追悼の思いで 「がんばろう! 石巻」の周りに灯籠を灯しました。



2014年3月11日。岩手県釜石市の鵜住居地区防災センター跡地。 ここでは200人以上が犠牲となった。

隣接していた幼稚園から避難した身重の女性も亡くなった。 女性はこの日を最後に産休となるはずだった。 子どもの名前も決めたばかりだった。

女性の夫が手を合わせると、知人の親子が近寄って、ともに冥福を祈っていた。投稿者: Tetsuya Shibui さん



共コン写真展 「忘れないで 3.11」の開催

2014年6月25日(水) \sim 7月5日(土) の期間、ニコンプラザ仙台コミュニティースペース (宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AERビル 29階) において、今回のコンクール受賞作品 及び応募いただいた全作品の展示を行います。どうぞお運びください。



開催概要

募集作品 2014年3月1日から31日までの1ヵ月間に撮影された東日本大震災に関連した写真

募集期間 2014年3月1日(土)~ 2014年4月15日(火)

応募総数 51点

賞・賞品 グランプリ 1点 商品券10万円分 優秀賞 10点 商品券1万円分

富永夏子(日本財団·写真家)

ニコン賞 1点 Nikon 1 AW1 防水ズームレンズキット

富士フイルム賞 1点 チェキinstax mini90ネオクラシック (フィルム50枚付き)

______ イヤーアルバム 1冊無料クーポン券

審査員 渡部陽一(戦場カメラマン) 太田信子(写真家・岩手県在住)

審査方法 審査員及び日本財団事務局で厳正かつ公正な審査を行った

協 賛 Nikon FUJ:FILM



お問い合わせ

日本財団 Facebook 共コンクール【共コン】係

担当:広報チーム 富永・山口

TEL: 03-6229-5131 FAX: 03-6229-5130 メール: photo@ps.nippon-foundation.or.jp